

1月11日は鏡開きの日

お正月にお供えしていた鏡餅を、年神様がいらっしやる松の内が明けた1月11日にいただく行事です。ただし、松の内を15日とする地方では、鏡開きを15日または20日に行う場合もあり、京都では1月4日に行われます。鏡餅に宿っている神様の霊力をいただき、一年間無病息災で過ごせると言われています。

鏡餅には霊力が宿っているので、刃物を使わず木づちなどで叩いて割って食べやすい大きさにしますが、これを「鏡を開く」ということから鏡開きと言います。

開いた餅は、「ぜんざい」にしていたのですが、昔から赤い色には邪気を払う力があるとされ、赤い小豆を煮たぜんざいで一年の無事を願っていただけです。

ぜんざいだけではなく、お雑煮にしたり、油で揚げて揚げ餅にしても美味しくいただけます。

